

何が起ころ、何が始まる。この秋は3つのテーマで連続セミナーへ。

10月1日(火)~10月2日(水) 開催地:東京

新しい時代を拓く。

共催 一般社団法人 町の工務店ネット・NPO法人 家づくりの会・LEXS研究会・一般社団法人 田園居住推進協議会



A

10月1日(火) 9:30~12:30 会場/建築会館ホール(定員200名)

中規模木造がおもしろい

人口減と空き家の増加を受け、今後、新築戸建は減少します。広く・高く・開放的、親しみがあり、かつ劇的な空間性を持った中規模木造建築の好例を発表します。面剛性のCLTと異なる、柱と梁で構成される、木造ならではの架構のおもしろさを追います。

講師



設計者と工務店の協同連携の取り組みへ。木と土の建築を存分に語ろう。

泉幸甫
泉幸甫建築研究所



秋田からの発信! 性能が大切なのは、建築を縛るためではなく、自由を得るためだ。

西方里見
西方設計



「近山」から20年。木造のおもしろさは、架構の自在性と、構造の合理性にある。

山辺豊彦
山辺構造設計事務所



肝心なのはプランでなく、スケルトンを標準化することでかつて町家は「定番」であり得た。

趙海光
ぶらん・にじゅういち
(チームおひさま)



施設建築では尚のこと、環境負荷が少なく融通性があり堅固な建築であること。

藤原昭夫
結設計(家づくりの会)



自然素材を用いた、^{シンプル}質実なデザインで、地域に長く生き続ける建物を生みたい。

松本直子
松本直子建築設計事務所
(家づくりの会)

日本最初の「自然素材展」を、三澤康彦さんや泉さんと一緒に開いたのは1992年でした。私が起草した「近くの山の木で家をつくる運動宣言」は、このとき語り合ったことがベースになりました。近山宣言時には山辺さんがいて、この流れの中に、趙さんや藤原さんや若い松本さんの実践が加わり、断熱・気密が問われることになったとき、そこに西方さんがいました。

——「ローマは1日にして成らず」。

営々として続けられてきたことが合わさり重なりパワーになると、それが新しい歴史になるのです。

(文・小池一三)

今回、私たちは「非住宅」の木造の可能性に臨みます。保育や高齢者施設や、事務所やレストランなどの建築に、重い方法でなく、軽やかに、経済性を無視しないで、しっかり学びあいたい。

ムク材による架構術は、奥が深く、魅力に富んでいます。けれども、日本では公教育で木造建築に重きを置いてこなかったため、期待は高いものの、実際には手を出しにくいのが実情でした。私たちはこれに風穴を開けるため、重ね材を用い、ベース構造と自由な架構法の組み合わせを図る、独自のシステムを発表します。

5人のプロジェクトメンバーによる、発表と検討会

[発表者]

山辺豊彦・趙海光・半田雅俊のほか、村田直子(MOON設計)
・久保潤一(スタジオあさか)がプロジェクトチームを組んで挑みます。



ファシリテーター
小池一三
町の工務店ネット



設計/藤原昭夫「陸前高田市森林組合事務所」

人と自然をつなぐ

B

10月1日(火) 13:30~17:00
会場/建築会館ホール(定員200名)

建築の未来形

B 人と自然をつなぐ建築の未来形

温暖化で雨量が6.5%も増加し、「気候の危機」が伝えられています。脱炭素の建築はいかにあるべきか？ セミナーに結集した講師陣は、過刺激的な方法に依らずに省エネ性と快適性とデザイン性とを融合させ、これから真に求められるローエナジーの未来形を解きます。

講師



最近の事例をご紹介します、断熱・気密と太陽熱利用をベーシックハウスの視点に立って考えたい。

堀部安嗣
堀部安嗣建築設計事務所



エクセルギーの方法を用い、蓄熱・放射を基本にして、人と自然の関係をシミュレーションしてみた。

宿谷昌則
建築環境学・東京都市大学名誉教授 (LEXS研究会)



今の建築が失ったものを、そしてパッシブデザインを、「五感のデザイン」の視点に立ってじっくりと語りたい。

小玉祐一郎
エステック計画研究所・神戸芸術工科大学名誉教授



建築と環境を追って50年。Q1住宅と空気集熱式ソーラーをコンターマップを用いて、比較・検討してみました。

荻原幸久
荻原ソフト&計測 (チームおひさま・LEXS研究会)



シンケンは、しっかり集熱する・熱を床下に蓄熱する・室内にゆっくり放射させるやり方で通してきた。屋根に太陽が降り注いでいるのに太陽が主人公の住宅を何故やらないのか？ それが不思議でならない。

迫 英徳
シンケン

宿谷さんの研究は、理論構築から具体的な計算シートへと進展しています。小玉さんの〈五感のデザイン〉は、パッシブデザインの本質を語り、荻原さんのコンターマップは、数値によって、建物の被覆性能と室内気候の関係を、明瞭・明快に解きます。堀部さんには、ここ数年に及ぶ建築実践から生まれた珠玉の建築群を紹介しながら、ベーシックハウスの根本を語っていただきます。

迫さんには、鹿児島シンケンによって25年間1700戸のすべての住宅に空気集熱式ソーラーを取り入れ、経営の根幹に据えてきた理由について発表いただきます。人と自然をつなぐ建築の未来形は、未だ不透明です。このセミナーを機に新しい時代を呼ぶべく、しっかり準備をしているところです。

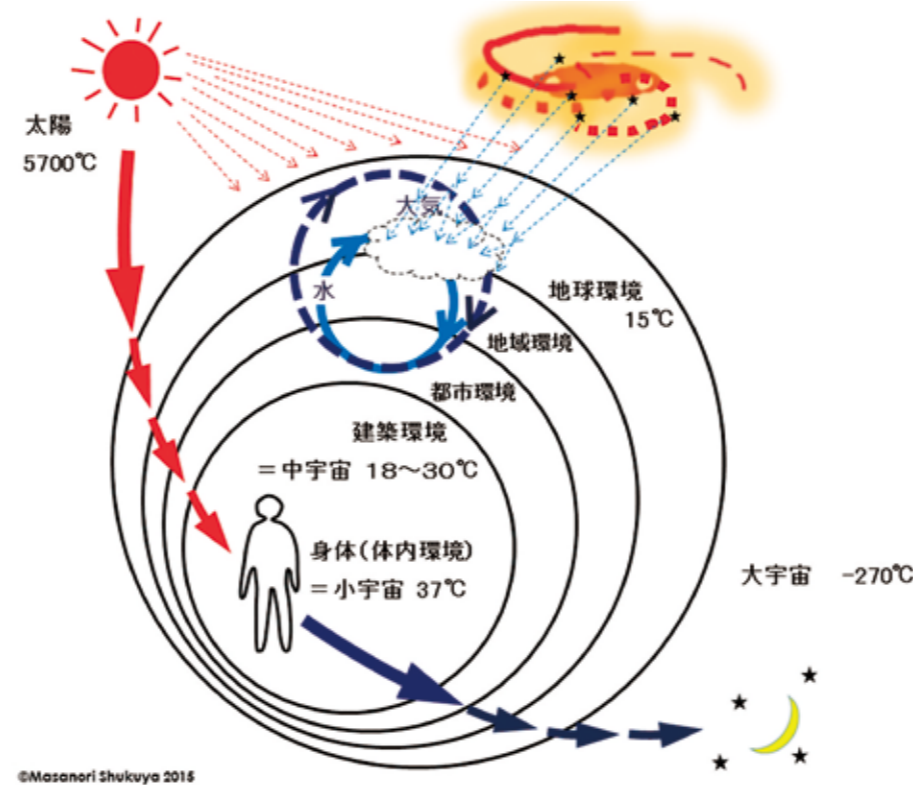


[どんな話が飛び出すか、期待が大きいパネルディスカッション]

人と自然をつなぐ設計をめぐる

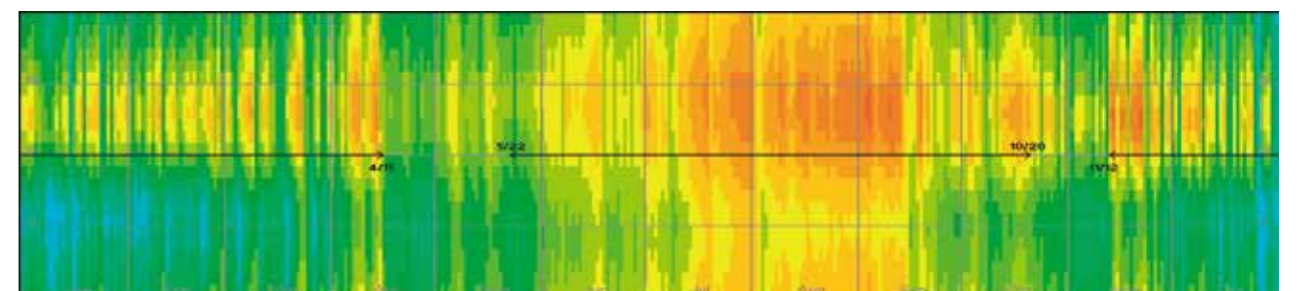
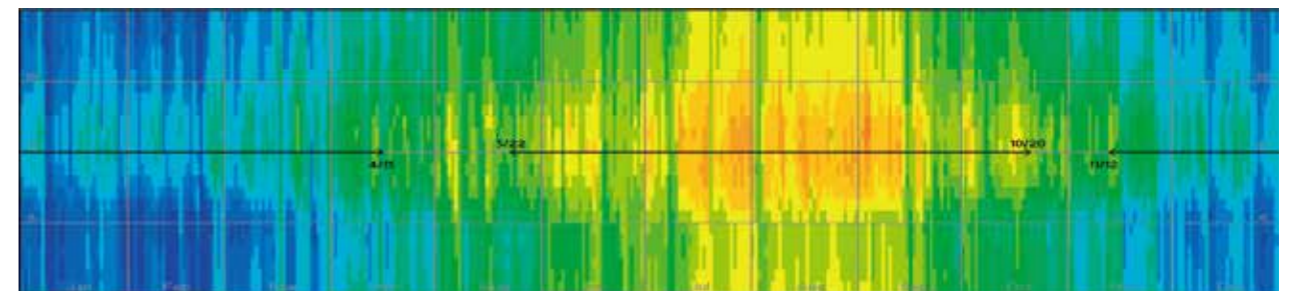
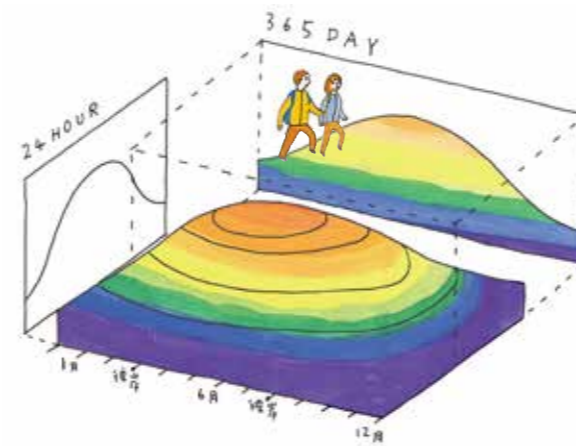
ファシリテーター
真鍋 弘
編集者・ライフフィールド研究所 (LEXS研究会)

◆環境の入れ子構造



◆荻原幸久のコンターマップ

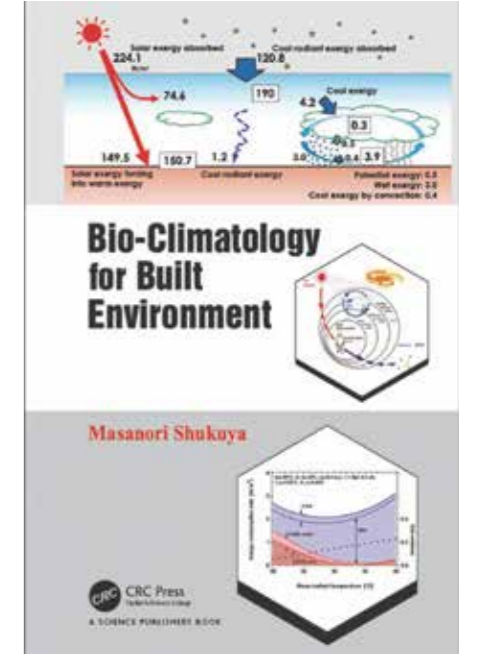
気温や室温等の変化を24時間、365日俯瞰して眺められるようにしたものがコンターマップです。まるで等高線のように、温度の高低がわかります。縦軸が下から上に1時から24時。横軸は左から右に1月1日から12月31日まで並んでいます。左右両端は冬、中央付近は夏場です。午前と午後、夏と冬で、どのような温度変化をしているのかを確認してみましょう。



◆宿谷さんの研究に関する著書



エクセルギーと環境の理論—流れ・循環のデザインとは何か
宿谷昌則 著



bio-climatology for built environment
宿谷昌則 著

泉幸甫と田瀬理夫の

緑の計画学

10月2日(水) 10:00~16:30
会場/目白・自由学園(定員120名)

C 泉幸甫と田瀬理夫の緑の計画学

都市のコンクリート化がいつそう進み、それは都市郊外へと延長してスプロール(虫食い)化し、緑のデザインは切なさを増しています。

「その家は、その家の前を通る人の家でもある」という視座に立つことで生まれる緑のデザインを、今回は都市のど真ん中で実現した事例に学び、泉・田瀬講師の喋り尽くしにご期待ください。

— 講師 —

泉幸甫
泉幸甫建築研究所



田瀬理夫
造園家・プランタゴ



設計／泉 幸甫「Apartment鶉」

10/1のセミナー会場から場所を、目白2丁目に建つApartment鶉へと移します。Apartment鶉は、泉幸甫さんの設計により2002年に竣工し、建築時高い評価を受け、日本建築学会作品選奨を受賞した事例です。土地は、かつて「鶉山」と呼ばれていた場所で、泉さんは建物に「じゅん」という呼び名を振られました。たくさんの木々とビオトープを配した都市アパートメントは、竣工から来年で20年。緑と池が土地と建物に馴染んできました。泉さんに案内、説明いただき、午前中いっぱい、この好例をじっくりと見学します。午後は、ここからほど近い目白・自由学園明日館の大講堂に移し、「アクロス福岡」「味の素スタジアム」「地球のたまご」「里山住宅博」等の緑の計画で知られる田瀬理夫(プランタゴ)さんによる集中講座を開きます。泉さんも加わっての講座によって、都市と郊外の緑計画を貫徹する理論と方法を、しっかり学べるセミナーとします。合わせて、小池一三が「里山住宅博」の開き方講座を受け持たせていただきます。



設計／泉 幸甫「Apartment鶉」



設計／泉 幸甫「Apartment鶉」

参加申し込み書

参加費 … A・B・C各7,000円／人(税込・昼食各自)

◆Webでのお申込み

<http://tenomonogatari.jp/eventform>

手の物語



お申込みQRコード→



◆FAXでのお申込み

2019年 月 日

御社名	
申込人数	人
TEL	
FAX	
住所	〒
参加者名	参加代表者 フリがな 男・女
	携帯電話番号 (当日ご連絡先)
	参加ご希望項目の□にレ点をお願いいたします。(すべて、先着順となります) <input type="checkbox"/> A 中規模木造がおもしろい <input type="checkbox"/> B 人と自然をつなぐ建築の未来形 <input type="checkbox"/> C 泉幸甫と田瀬理夫の緑の計画学
	フリがな 男・女
参加者名	参加ご希望項目の□にレ点をお願いいたします。(すべて、先着順となります) <input type="checkbox"/> A 中規模木造がおもしろい <input type="checkbox"/> B 人と自然をつなぐ建築の未来形 <input type="checkbox"/> C 泉幸甫と田瀬理夫の緑の計画学
	フリがな 男・女
	参加ご希望項目の□にレ点をお願いいたします。(すべて、先着順となります) <input type="checkbox"/> A 中規模木造がおもしろい <input type="checkbox"/> B 人と自然をつなぐ建築の未来形 <input type="checkbox"/> C 泉幸甫と田瀬理夫の緑の計画学
	フリがな 男・女
代表者 メールアドレス	参加ご希望項目の□にレ点をお願いいたします。(すべて、先着順となります) <input type="checkbox"/> A 中規模木造がおもしろい <input type="checkbox"/> B 人と自然をつなぐ建築の未来形 <input type="checkbox"/> C 泉幸甫と田瀬理夫の緑の計画学
	フリがな 男・女

※お申込書FAX到着後、折り返しメールにて、ご案内等ご送付させていただきます。メールアドレスを必ずご記入ください。

FAXでのお申し込みは FAX ⇒ 053-570-9017

お問合せ

セミナー事務局／手の物語有限公司 静岡県浜松市中区南浅田2丁目2-1 tel.053-570-9012